

令和3年度 第1回技術部会

C3部会 8月19日(木) 全国高等学校体育連盟体操専門部

==== 審議事項=====

1. 令和3年度 高校適用規則(競技規則、採点規則)の確認
2. 令和4年度 全国高校総体(愛媛・香川)大会実施要項について
3. 令和5年度 全国高校総体(北海道)大会実施要項について
4. 令和3年度 全国高校選抜(熊本)大会実施要項について
5. 令和4年度 全国高校選抜(三重・静岡)大会実施要項について
6. 令和3年度 全国高校選抜熊本大会の選考方法について
7. その他
 - (1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

==== 審議結果=====

1. 令和3年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について

・令和3年度以降の手具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜				
	手 具		開催地	手 具				開催地
令和3(2021)年度	ロープ	クラブ	新潟	スティック	リング	ロープ	クラブ	熊本
令和4(2022)年度	クラブ	スティック	香川	スティック	リング	ロープ	クラブ	静岡
令和5(2023)年度	スティック	リング	北海道	スティック	リング	ロープ	クラブ	埼玉
令和6(2024)年度	リング	ロープ	福岡	スティック	リング	ロープ	クラブ	西地区

・競技規則・採点規則
変更なし

・全国高校適用について

- 1 (1) 禁止技についてア及びイの後方を削除(現行ルールに記載があるため)
- (3) マークについての記載を削除(現行ルールに記載があるため)

2. 令和4年度 全国高校総体(愛媛・香川)大会実施要項について

・特になし

3. 令和5年度 全国高校総体(北海道)大会実施要項について

・特になし(今後、実行委員会が立ち上げ、内容を精査していく)

4. 令和3年度 全国高校選抜(熊本)大会実施要項について

・特になし

5. 令和4年度 全国高校選抜(三重・静岡)大会実施要項について

・特になし

6. 令和3年度 全国高校選抜(熊本)大会の選考方法について

・中国・九州ブロックは、各ブロックで選考方法を調整(全国高校総体の成績に基づき選考予定)

7. その他

(1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

・令和4年度補充枠について

全国高等学校体育連盟体操専門部要覧における、全国高校総体諸規定の「大会規模適正に伴う参加制限に関する規定」および全国高等学校総合体育大会新体操大会実施要項「9 参加制限」において記載があり、その内容に基づいて、補充枠の配当するブロックの優先順位を技術部会において承認が得られたので、令和3年度第2回技術部会で、令和4年度の全国高校総体の補充枠を仮決定する。

・予備手具の設置について

予備手具については、規則にも置かなければならないとなっている。これまで、出場選手や監督が演技前に設置をしていた状況である。しかし、少なくとも予備手具については、2方向に置く必要性もあると考えられる。

予備手具を開催地に準備してもらうことは、大会経費の負担にもつながることとなるが、現在、高体連では1セット準備しているので、高体連で追加1セットを準備してもらえると選手や監督が演技前に準備をする必要もなくなる。

・伴奏曲音源のCDを廃止について（男女共通）

不具合が例年起こっているが、女子の規則には明記されていることもあり、今後の方向性を見極めながら音源については検討していきたい。

・全国高校総体（個人競技）の班編成について（男女共通）

今後の検討材料としていきたいが、要覧の変更等にも関わってくるので、現状では難しい。

・（公財）日本体操協会から（男子新体操委員会：安福先生）

※鹿児島国体における新体操男子のプレ大会開催について

鹿児島国体では、イベント事業として日本体操協会が主催で、鹿児島県と佐賀県が主幹となり実施する予定である。

団体競技（5人団体）のみ実施、出場チーム数は、国体と同じ各ブロックから1チーム（開催の鹿児島県と佐賀県は開催地枠出場）の予定である。

本国体では、中学3年生の出場も可能になっており、プレ大会についても中学3年生を出場可能とするか検討する。

大会開催該当年度は、ブロック国体において予選大会を開催する必要があるため、各ブロック体操協会に承諾を得てもらい大会を開催できるよう準備を進めてもらいたい。

大会出場に係る経費（旅費等）は、各チームの負担になる予定である。

※審判関係について

1種の審判認定講習は、12月11日～12日で実施予定である。審判の義務研修は、1月末から2月初旬で検討中である。

規則改定を検討中であるが、正式には、義務研修において公表する予定である。